

第26回（令和6年度）技術発表会事例応募要綱

技術発表会事例の応募は、下記要綱に従う。

1. 目的

各会員企業の技術・施工力について、コスト縮減、工期短縮などの技術提案、新技術・工法の開発等の観点から選定し、優れた工事实績を県民をはじめ公共工事発注機関等に周知するとともに、各会員企業の技術力、施工力の向上を図り、より質の高い建設活動の展開に寄与することを目的とする。

2. 日時

令和6年10月30日（水）
午後1時から概ね午後5時まで

3. 開催場所

大宮ソニックシティ 小ホール
埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5

4. 事例の募集対象

一般社団法人埼玉県建設業協会 会員企業（ただし、県内企業に限定する。）

5. 事例の募集期間

令和6年4月 1日（月）から
令和6年5月31日（金）まで

6. 対象工事等

- (1) 工事発注者
発注者は限定しない。
- (2) 対象となる工事等
 - ア 公共・民間発注の全ての工事を対象とする。規模の大小は問わない。
また、改修（リフォーム）工事も対象とする。
 - イ 前年度において、県・国より優秀建設工事で表彰された工事も対象とする。
 - ウ 過去に当発表会に応募した事例は対象外する。
- (3) 施工場所
県内外を問わない。
- (4) 工事受注方式
県内会員企業の単独受注した場合、または県内会員企業同士、あるいは県内非会員企業とのJV方式に限定する。
- (5) 工事完成年度
限定しないが、なるべく直近の工事とする。

7. 工事事例の応募について

- (1) 一会員が応募する事例数は制限しないものとし、既に社内外で発表済みのもので差し支えないものとする。
- (2) 最終的に事例集として製本するため、要領を遵守して原稿を作成すること。
- (3) 原稿の作成にあたっては、A4用紙4枚以内(図面・写真込み)にて作成すること。なお、規定枚数を超える事例は、審査対象外とする。
- (4) 原稿を作成する際に使用する様式は、必ず現在当協会ホームページに掲載されている様式をダウンロードして使用する。
ダウンロード・応募可能な様式は、「ワード・エクセル・一太郎」形式となる。ダウンロードページ、及びパスワードは以下のとおり。

当協会ホームページ：<http://www.skk.or.jp/>

(当協会トップページ→「技術発表会」→「会員専用ページ」)

- (5) 提出する原稿は以下とする。

①作成した事例 ②技術発表会送付状

- (6) 事例の提出方法は、送付または電子メール添付とする。

①記録メディア(CD-R等)の送付

データを保存した記録メディアを事務局まで送付する。送付先住所は以下。なお、送付中に記録メディアが破損しないよう、梱包に留意すること。

〒336-8515 埼玉県さいたま市南区鹿手袋4-1-7建産連会館2階
一般社団法人 埼玉県建設業協会 技術委員会庶務 宛
TEL 048-861-5111

②電子メールによる送付

提出書類のデータ(①作成した事例 ②技術発表会送付状)を電子メール添付して送付する。送付先およびメール件名は以下とする。

送付先電子メールアドレス ggthpki@skk.or.jp
電子メール件名 『技術発表会事例送付／〇〇建設』

メール送付の場合、事務局担当が送付元に対し、確認の返信を行っている。送付後に返信がない場合は、事務局までお問い合わせ願いたい。

※ ファイルを圧縮して送付する場合は、「lzh」か「zip」形式とする。

- (7) 審査の結果、発表事例に選出された場合、後日、技術委員会庶務より担当者まで連絡する。事前説明会・リハーサルについても、併せて通知する。

8. 事例様式詳細について

(1) 様式内の体裁は以下とする。

- ① フォント : MS明朝
 - ② 文字サイズ : 11pt
 - ③ 字間・行数等 : 様式の指定に従うこと
 - ④ 余白 : 様式の指定に従うこと
 - ⑤ 文体 : 『常体(である調)』で記載
- なお、これらについて変更は認めない。

(2) 必須記入項目は以下とする。

- ① テーマ : テーマ名を記入する。
 - ② 会社名 : 会社名を記入する。ここでの標記は、「株式会社」等を略さない。
 - ③ 所在地 : 本社の所在地を記入する。
例) さいたま市南区鹿手袋4-1-7
 - ④ 分野 : 該当する項目の前の□を■にする。「その他」の場合は、カッコ内に分野を記載する。
 - ⑤ 作成者 : 作成者を記入する。
 - ⑥ 工事名 : 工事名を記入する。
 - ⑦ 発注者 : 発注者名を記入する。例) 埼玉県、川口市、○×株式会社等
 - ⑧ 受注形態 : 該当する項目の前の□を■にする。
なお、JVの場合は、括弧内に記載する。
例) 埼玉・浦和JV等
 - ⑨ 工期 : 開始年月及び完了年月(日は省略)を記入する。
 - ⑩ 施工場所 : 工事施工の場所を記入する。
例) さいたま市南区鹿手袋4-1-7
 - ⑪ カテゴリー : 別記「カテゴリー一覧表」より、該当するカテゴリーを選び(複数選択可)、下段にカッコ書きにて、内容の簡単な説明を付記する。
 - ⑫ 工事概要 : 工事の概要を記入する(事例記入例参照)。
例) 下水道工事(土木)の場合
路線延長・管径・施工法・人孔設置・立杭工・地盤改良工・付帯工等を記入。
例) 建築物築造(建築)の場合
用途・構造・規模・建築面積・延床面積等を記入。
 - ⑬ 工事内容
- ※記載方法詳細については、前述ホームページ内の『事例記入例』を参考にすること。

(3) 事例作成上の注意点

- ① 事例の修正について
事例集作成の前に、技術委員会により、事例の手直し(主に語句や体裁の修正)を行う。語句等の修正がありうる点、ご了承願いたい。
なお、後日作成者に連絡し、修正をお願いする場合がありますので、ご協力願いたい。

②写真・図表等について

写真・図表は、事例中にデータ貼り付けとする。写真等はカラーを用いること。

③文章作成で注意するについて

文面に「出来る」「為」「有った」「成る」「又」等を頻用する事例が目立つが、非常に読みづらいので、使用せずひらがな表記とする（事例記入例参考）。また、**半角カタカナ・縮小した文字は使用しないこと。**

事例中に使用する単位・記号については、正規の記号を用いること（m3等は禁止）。

また、文章作成にあたっては、事例集として頒布公開する点を意識し、簡潔明瞭で読みやすい文章に仕上げること。

9. 応募のあった事例について

①事例集作成・配布

応募のあった事例については、発表の有無を問わず、技術委員会により必要に応じて適宜修正を行い、最終的に『技術発表会事例集』として、会場にて配布する。

また、前年度において、県・国で優秀建設工事事例として表彰された事例についても、上記事例集に掲載し紹介する。

②工事写真の送付

事例審査後に、事例送付いただいた担当者に、事例に関する「工事写真」のデータ提出をお願いしている。提出日等は、後日担当者に連絡する。

10. お問い合わせ

技術発表会全般に係る問い合わせ先は以下のとおり。

一般社団法人 埼玉県建設業協会
技術委員会庶務 黒澤
電話 : 048-861-5111
FAX : 048-861-5376
E-mail : ggthpki@skk.or.jp
<http://www.skk.or.jp/>